

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>フェニックス・ニューブリッドβ</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.500</b>	△RG <b>0.052</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：フェニックス・ニューブリッドβ**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  
**4 1/2** インチ

番

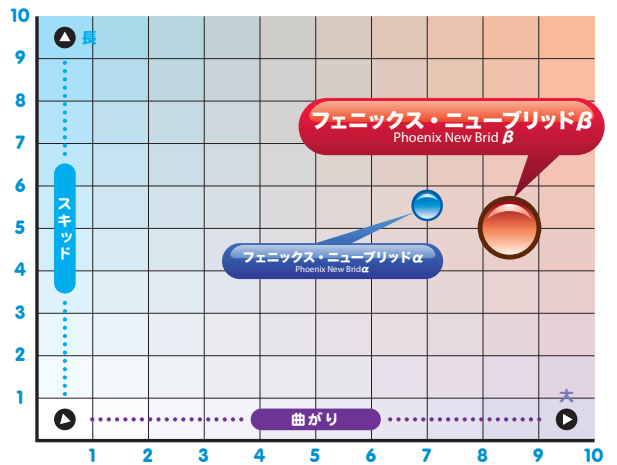
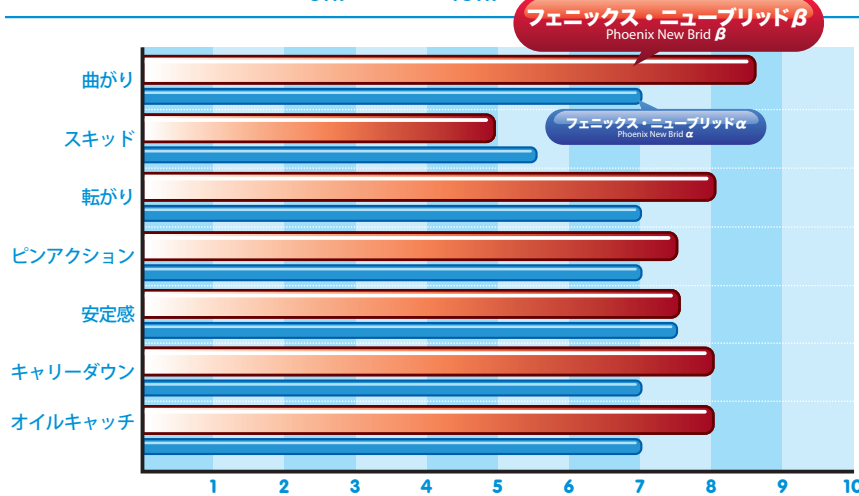
**比較対照ボール：フェニックス・ニューブリッドα**

フレアーの幅  インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

PAPからピンとの距離  
**4 1/2** インチ

番



**ボールの評価**

「不死鳥には圧倒的なパフォーマンスこそ相応しい!」  
 ハイポリッシュな表面加工。それでいてキャッチ力・バックエンドリアクションの強さは今までのボールとの違いを感じさせてくれます。

現在トレンドである光沢のある表面で十分なスキッドを確保し、それでいてオイルに強く、ドライゾーンでの反応の良いカバーストックが採用されており、このカバーストックはPhoenix Newbrid βの為だけに特殊配合され、非常に粒子の細かいカバーストックです。粒子の細かさでいうコロムビア社モーメントムと同等かそれ以上であり、オイルに対しての強さも同等かそれ以上のものだと言えるでしょう。

Phoenix Newbrid αで使用したStrong Rounded Coreをしていますが、今までフェニックスの象徴でもある扱いやすく柔らかく切れる感じはカバーストックの変更で全く違ったリアクション性能に生まれ変わり、ドライゾーンからピンヒットまで加速しながら切れるイメージに仕上がっています。テストボールの段階で転がりの良さ、オイルに対しての強さ、バックエンドでの反応の良さ、柔らかいピンアクションはテスターからの評価は満点。一点の曇りもなく満場一致で発売いたします。トラック社は今回このボールでテクノロジーの結晶を表現し勝負してきました。

そのテクノロジーの結晶とも言える性能を是非その手でお確かめ下さい。

**特記事項** 現在トレンドである、光沢のある表面仕上げでありながらオイルキャッチの強さとドライゾーンでの反応の良さを感じるボールです。加速しながらピンヒットまで駆け抜けるリアクションを体験してください。